

- ルノー・ジャポン、「カンゲー」の燃料ホース及びブレーキパイプに不具合があるとしてリコール
燃料ホースは12年10月26日～14年5月22日に生産した1951台。ブレーキパイプは12年10月2日～13年4月24日に生産した858台
燃料ホースについては、エンジンルームでの取り回しの指示が不適切な為、燃料ホースとエアコンパイプが干渉するものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、燃料ホースが摩耗して燃料が漏れる恐れがある。ブレーキパイプについては、ABS油圧調整装置への取り付け工程で、ブレーキパイプを誤った位置に取り付けたものがある。その為、ABS作動時等にブレーキが適切に作動せず、走行安定性を損なう恐れがある。
- 三菱ふそうトラック・バス、「エアロエース」等2車種、UDトラックOEM「スペースアローA」等2車種のヒーターホース及びファンベルト用イドラプリーに不具合があるとしてリコール
ヒーターホースは10年8月30日～14年3月31日に生産した1540台。イドラプリーは10年8月30日～14年9月18日に生産した2129台
ヒーターホースについては、強度が不足している為、水圧によりホース内部の補強糸が切れることがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、ヒーターホースが水圧に耐えられず破損して冷却水が漏れ、デフロスタの機能が低下して前面ガラス直前の視野を確保できない恐れがある。ファンベルト用イドラプリーは、ベアリング部の製造指示が不適切な為、製造時にベアリングが変形して組み付けられることがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、ベアリングに異音や焼付きが発生し、最悪の場合、ファンベルトが切れてオーバーヒートに至る恐れがある。
- トヨタ自動車、「カローラ」等計19車種のエアバック装置に不具合があるとしてリコール 02年9月24日～03年12月25日に生産した18万5093台
- ホンダ、「フィット」等計11車種のエアバック装置に不具合があるとしてリコール 03年1月6日～04年2月6日に生産した17万6852台
- 日産自動車、「プレサージュ」等計8車種のエアバック装置に不具合があるとしてリコール 03年1月10日～04年1月14日に生産した8万2951台
- 三菱自動車、「ランサー」のエアバック装置に不具合があるとしてリコール 03年12月2日～同年12月25日に生産した304台
助手席用エアバックのインフレーター(膨張装置)において、車両解体作業時にインフレーター容器の破損が発生した。この為、原因は判明していないが、同年式で同タイプのインフレーターはエアバック展開時にインフレーター容器が破損して飛び散り、出火したり乗員が負傷する恐れがあることから、全車両、予防的措置として、当該インフレーターを良品に交換する。
- 日産自動車、「マーチ」「ノート」「ラティオ」のドアミラーに不具合があるとしてリコール 10年6月24日～14年4月15日に生産した25万1004台
ドアミラー鏡面部の接着力が不足している為、使用過程における紫外線の影響等により、接着力が低下して接着面が剥離するものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、鏡面部が脱落して、後方の交通状況等が確認できなくなる恐れがある。
- クライスラー日本、シーブ「グランド・チェロキー」のサンバイザ、ABS制御プログラム、ボディコントロールモジュール、ブレーキ倍力装置に不具合があるとしてリコール
サンバイザが10年12月18日～14年3月15日に輸入した3965台、ABS制御プログラムが11年12月6日～12年11月14日に輸入した187台、ボディコントロールモジュールが13年10月15日～14年7月24日に輸入した1117台、ブレーキ倍力装置が10年12月18日～14年1月16日に輸入した3445台
サンバイザやルーフトリムに関わる整備作業時において、バンティミラーランプ配線を必要以上に引き出した後、当該配線の位置を確認せずにサンバイザをスクリュで固定した場合、当該配線が損傷することがある。その為、ショートが発生してバンティミラーランプが点灯せず、最悪の場合、火災に至る恐れがある。ABSについては、制御プログラムが不適切な為、特定の加速状況で急にアクセルペダルを放した後、ブレーキペダルを踏んだ場合、ABS内の油圧制御バルブが誤作動することがある。その為、ブレーキペダルが通常より重くなることでユーザーの意図する制御ができず、最悪の場合、制動距離が伸びる恐れがある。ボディコントロールモジュールについては、制御プログラムが不適切な為、後面方向指示器の故障診断機能が作動しないことがある。その為、後面方向指示器が故障した場合、運転者に対する警告機能が作動しない恐れがある。ブレーキ倍力装置については配置が不適切な為、当該装置に雨水等がかかり、錆が発生するものがある。その為、錆が進行し倍力装置が腐食して負圧を維持できなくなることで、アシスト機能が失われ、最悪の場合、制動距離が伸びる恐れがある。